

くらき永田保育園便り



お泊り会が始まるまでの平穏な日々が嘘のように連休後から月末にかけては様々なところからコロナウイルス感染の電話が尋常ではありませんでした。濃厚接触としてお休みを余儀なくされてしまったご家庭、また、自宅保育してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。おかげさまで大規模なクラスターになることもなく、保育園内のピークは収まってきているようです。

さて、連日30℃を超える日が続いています。お昼寝時間帯にはスズメ達が園庭の水たまりで水浴びし、また、ミストシャワーの下ではカラスが気持ちよさそうに涼んでいる姿が見られます。人間だけでなくすべての生き物が暑さに対応しているようです。8月は子どもたちも水とたくさん触れ合い、そしていっぱいカラダを動かす季節です。この時期に楽しく遊んだ遊びが運動会にもつながってきますので、「カラダを動かすのが楽しい」と感じる保育を心がけたいと思います。

また、8月は職員も交代で研修に参加したり、休暇を取得できるようシフトを組んでいます。そのため、例年通り、園児数に応じて合同保育の形態をとったり、普段と違った保育室での活動となる日も出てきますのでご了承ください。また、給食の食材発注がありますので、お休みの予定がわかりましたら担任までお知らせください。

NHK Eテレ「まいにちすくすく」に映っていた子どもたちの姿は可愛かったですね。放送後の反響もよかったようで、その中に「あのお皿を自宅でも使いたいので購入したい」という問い合わせが多かったそうです。保育園でも懇談会の後などにそのような要望があります。お皿や食具の購入も可能ですので興味のある方は担任までお声掛けください。

こども基本法

日本には「児童福祉法」「母子保健法」「教育基本法」「少年法」「児童虐待防止法」など子どもに関わる様々な個別の法律はありますが、子どもの権利を保障する総合的な法律は存在しませんでした。コロナ禍の中、小学校を一斉休校にしたり、講演で遊んでいた子どもが警察に注意されるといったニュースがありましたが、これらも子どもの権利を考慮に入れて議論されなければいけない問題だったと感じています。6月15日に「こども家庭庁の設置法」「こども基本法」が成立しました。子どもファーストの視点が世の中に広まることを期待します。

昨年に引き続き8月26日(金)に「夏祭りごっこ」を行います。すくすく・異年齢クラスは、甚平または浴衣での登園してもOKな特別な日となります。盆踊りやゲーム、お店屋さんも登場します。お泊り会に引き続き今回も岩崎学園の学生さんもお手伝いで参加してくれることになりました。大規模なイベントはなかなか実施できない状況が続きますが、小さくても子どもたちにとって楽しい時間をのんびりと過ごしたいと思えます。

各クラスの水遊びの様子をお伝えします！

にこにこ

暑い日が続き、沐浴と水遊びが始まりました。水遊びでは、慎重に水に触れようとする子や、どんどん自ら触れようとする子など、様々でした。触れてみると冷たさが気持ちいいようでビニールプールの水を手でばしゃばしゃと叩いたり、玩具を使って水を掬ったり、滴り落ちる様子を不思議そうにじっと見つめたり…子どもたちの感じ方はそれぞれで、涼を楽しんでいます。また、氷も一緒に出してみると、手で触って、舐めて確かめたり、あまりの冷たさから笑顔になっている子もいました。水や氷に慣れてくると、お部屋に入る時間になると“もっとあそびたい！”と身体をのけ反って泣いて嫌がる姿も見られるようになりました。まだまだ暑い日が続くので、水遊びや氷遊びで涼を感じ、沐浴で汗を流していきたいと思えます！



よちよち

毎日元気いっぱい遊んでいるよちよち組の子どもたち。火曜日と木曜日はテラスで水遊びをしています。初日から水を怖がることもなく、水に触れる事が「気持ちいい！」「楽しい！」と全身がビチョビチョになるほど遊んでいました。大きなタライに入った水を見つけると「あ〜！」と目を輝かせている姿もあり、よちよち組の子どもたちは水遊びが大好きなです！

水遊びが始まったばかりの頃はジョウロやシャベル、お皿やコップなどの玩具や両手で水面に触れ、バシャバシャと水しぶきが上がることを楽しんでいた子どもたち。遊びを重ねていくなかで段々と「タライの水をジョウロに入れたい！」「ジョウロでバケツに水を入れたい！」といった気持ちが芽生え始め、日々遊びが広がっています。





すくすく

今年は梅雨明けも早く、暑い日が続き、水遊びを楽しんでいます。大きなスポンジやジョーロ、バケツを使って桶から水をすくったり、別の容器に移し替えて遊んでいます。最近では、ジョーゴやペットボトルなどの道具によって水の出方が違う事に気が付き、組み合わせて遊ぶ姿も見られるようになりました。入り口が細い容器に水を入れる時には、ジョーゴを組み合わせ、簡単に水を集めると「見て～」とお友だちや保育士に教えて真似し合うなどしています。今年度、すくすく組では水遊びを通して『不思議』を感じる体験がたくさん出来るといいなと思っています。桶の中の水の温度を替えて感覚の違いを感じたり、後半には泡が出るものも使いながら、子どもたちの『やってみたい』や『なんでだろう』をたくさん引き出していけるといいなと思います。



異年齢

プールがだ～い好きな子ども達。毎日「明日はプール入れるかな?」「早く私の番がきてほしい!」と楽しみにしています。プール遊びでは、バタ足をしたり、輪になって歩いたり、泳いでお友だちにタッチしたり・・・冷たい水もへっちゃらで遊んでいます。また園庭の遊びでは、水遊びに加え泥遊びも根強い人気です。トリムの丘に水を流してお尻で滑り、ウォータースライダーのように遊んでいます。また、出張ブリコルームとして園庭でもアート活動をたくさんやっています。ペットボトルにシールやペンで絵を描いて自分の水鉄砲を作って遊んだり、色水を自分で混ぜて自分だけの色を作ったり、絵の具だらけになって遊んでいます。特に絵の具をしゃぼん玉液に入れて吹く【バブルアート】は楽しかったようで何度も挑戦する姿が見られました。これからも夏を楽しんでいきたいです!



給食室

じりじりと日差しが肌に刺さるような、夏本番がやってきました。
暑い日が続くと、食事もさっぱりしたものになりがちですが、それだけばかりではスタミナ不足が心配です。体をつくるタンパク質や、体の機能を維持するビタミンやミネラルが不足すると、夏バテで様々な症状が出てしまいます。

〈夏場にとりたい栄養素〉

- ① ビタミンB1…豚肉・たまご・大豆など
 - ② ビタミンC…ピーマン・ブロッコリー・じゃが芋・果物類など
- この2つの栄養素は、体の疲れを回復させる働きをもっています。
- ③ タンパク質…肉・魚・たまご・大豆など
- 血液や筋肉をつくる主要な成分です。

遊言係より

今回は『わらべうた』についてお伝えしたいと思います。

日々、子どもたちと親しんでいる『わらべうた』ですが、子どもたちにとって様々な体験ができる遊びとなっています。

例えば、乳児期ですと歌声に反応し、自発的に動こうとする事で、身体機能の発達に影響を与えたり、優しい歌声を聞く事で安心感を覚えたり、手足を動かすスキンシップを取る事で大人との信頼関係を深める事にも繋がります。また、少し大きくなってくるとお友だちと一緒に遊ぶこともできる為、コミュニケーション能力を身に付けたり、歌の中で言葉や数を覚えたり、歌と一緒に体を動かすことで、運動能力やリズム感を養うこともできると言われています。そう考えると、遊びながら生活の基本を学ぶことができる、とてもいい遊びだなと感じますよね。

くらき永田保育園では月に一度久保先生をお招きし、わらべうたの時間を設けていますが、子どもたちは毎回楽しみにしていて、元気に参加をしています。

保育園のホームページでもわらべうたの動画が掲載されているので、よければご家庭でもお子さんと一緒にわらべうたの時間を楽しんでみてくださいね。

今月の行事

5日(金)	水フェス②(異年齢)
13日(土)	布団乾燥
24日(水)	水フェス③(異年齢)
26日(金)	夏祭りごっこ
31日(水)	プール納め／裸足保育終了

池にカエル発見！！

1階にある池に春には沢山いたオタマジャクシ。最近はどこに行ったのか姿を見る事がなかったのですが、それでも毎日、中を覗いて探索を続けていると7月末に一人の子が「カエルがいた!」と大きな声で教えてくれました。その声が聞こえると園庭で遊んでいた子どもたちも池まで駆けていき、「どこどこ?」と興味津々! まだ小さいカエルですが、ぜひ子どもたちと一緒に探してみてください!